

富山市中心市街地活性化基本計画（第1期）
事後評価（中間報告）

平成23年8月

富山市

目 次

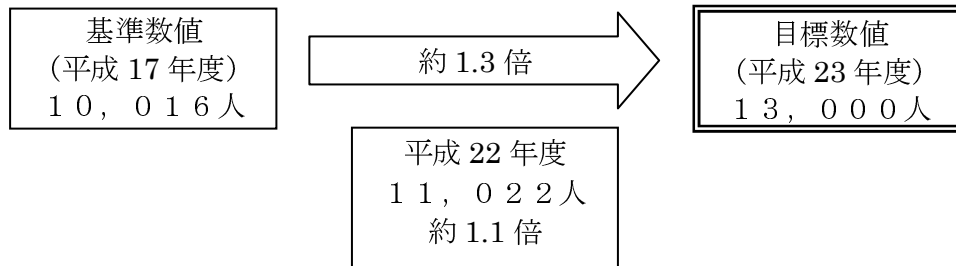
- 1 富山市中心市街地活性化基本計画（第1期）の概要
- 2 富山市中心市街地活性化基本計画（第1期）事後評価（中間報告）について
 - (1) 各目標数値の達成状況について
 - 目標数値1) 路面電車市内線一日平均乗車人数（人／日）
 - 目標数値2) 中心商業地区の歩行者通行量（日曜日）（人／日）
 - 目標数値3) 中心市街地の居住人口（人）
 - (2) 富山市中心市街地活性化基本計画・27事業の進捗状況等
- 3 評価のまとめ

2. 富山市中心市街地活性化基本計画(第1期)事後評価(中間報告)について

(1) 各目標数値の達成状況について

目標数値1)「路面電車市内線一日平均乗車人数(人/日)」

* 毎年4月1日～3月31日までの路面電車市内線総乗車人数÷365日



①目標数値の達成状況

「路面電車市内線1日平均乗車人数」については、1期計画を策定した平成19年2月以降順調に乗客数を伸ばしており、平成22年度は11,022人/日で、平成18年度から1,243人の増加となっている。(表1)

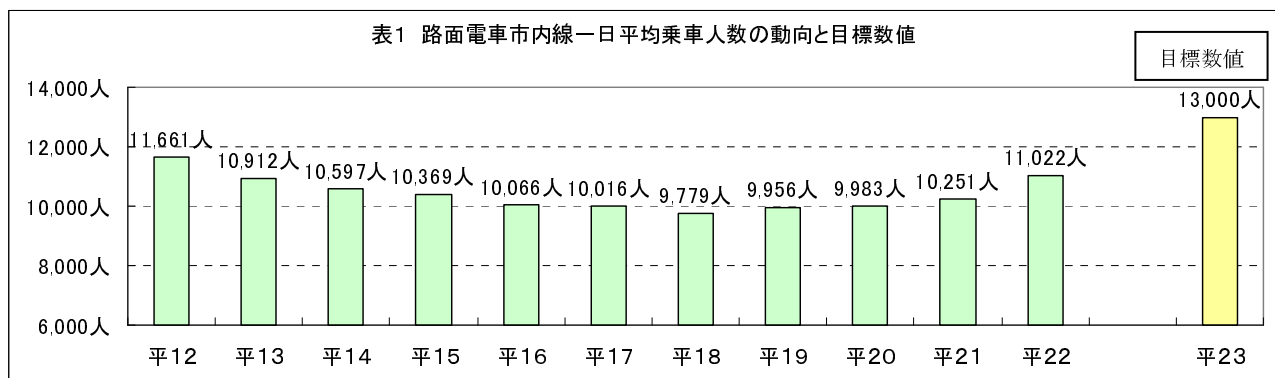
この要因としては、市内電車環状線、総曲輪フェリオ(総曲輪通り南地区第一種市街地再開発事業)、グランドプラザの開業が大きく寄与しているものと思われる。

しかしながら、まちなか居住者が当初の見込み通りに増加していないこと等により、目標値13,000人/日には、若干及ばないものと考えている。

②今後の対応策

今年度から、「おでかけ路面電車事業」(「おでかけバス事業」の仕組みを路面電車に拡大)や「オートワンデー」(路面電車に同一日、ICカード乗車券を利用して3回乗車すると、4回目以降の運賃が無料となる制度)を開始したところである。

また、今後、西町周辺に新たな電停を設置するなど、更なる利便性の向上を図り、乗客数の増加につなげていきたいと考えている。



目標数値 2) 中心商業地区の歩行者通行量 (日曜日) (人/日)

* 調査方法…毎年 8 月中旬の日曜日 (1 日) に調査



①目標数値の達成状況

「中心商業地区の歩行者通量」については、基準となる平成 18 年の数値と比較すると、平成 19 年及び 20 年は若干増加したものの、21 年、22 年は減少傾向にある。(表 2)

しかしながら、「総曲輪通り南地区第一種市街地再開発事業」(総曲輪フェリオ) や「グランドプラザ整備事業」等が行われた総曲輪通りにおいては、平成 18 年 8 月に 8,421 人であったものが、平成 22 年 8 月には、9,035 人となるなど、本計画において整備を行った地点の周辺では、着実にその効果が現れてきている。(表 3)

さらに、平成 23 年 3 月に行った調査によれば、中心商業地区全体で 32,398 人/日と目標値 32,000 人/日を上回る調査結果となっている。(表 3) ただし、例年 3 月は、比較的歩行者通行量が多い時期であるため、今年の 8 月に行われる調査状況を見極めたいと考えている。

②今後の対応策

来街を促進するためのイベントを引き続き実施するとともに、次年度以降に、グランドプラザ周辺に集中している来街者の回遊性の向上のためのソフト事業を検討する。

また、平成 26 年度には「西町南地区第一種市街地再開発事業」において市立図書館やガラス美術館等の集客交流施設がオープンする予定であり、現在の賑わい施設との相乗効果により中心商業地区全体の歩行者通行量の底上げを期待している。

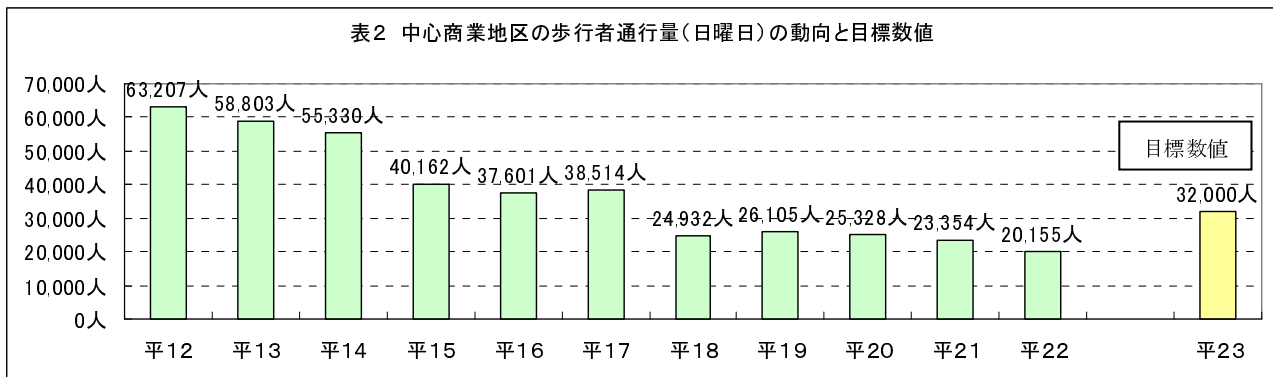
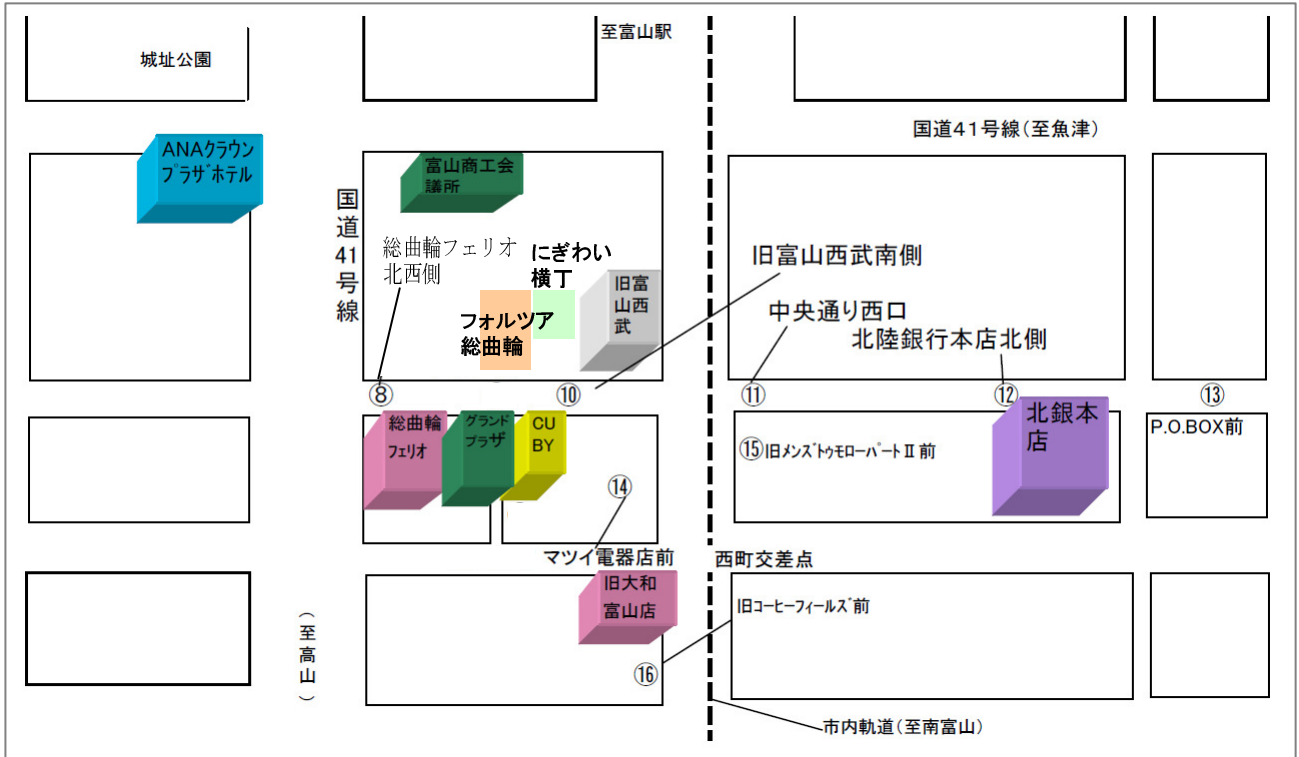


表 3 中心商業地区の歩行者通行量調査結果

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年		平成23年
	8月20日(日)	8月19日(日)	8月24日(日)	8月23日(日)	3月14日(日)	8月22日(日)	3月20日(日)
総曲輪通り	8,421人	10,657人	11,347人	10,158人	11,932人	9,035人	16,878人
中央通り	11,632人	10,335人	10,394人	9,529人	11,272人	8,205人	11,749人
西町	4,879人	5,113人	3,587人	3,667人	4,020人	2,915人	3,771人
中心商店街合計	24,932人	26,105人	25,328人	23,354人	27,224人	20,155人	32,398人

<図2 中心商業地区の歩行者通行量の調査地点図（地点番号①～⑦は、駅前地区）>



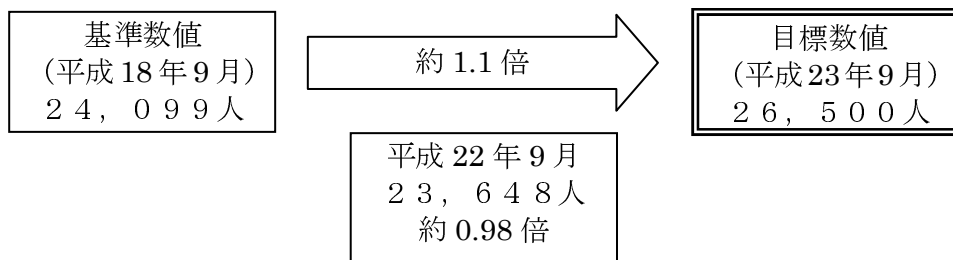
区分	調査地点
総曲輪通り	⑧総曲輪フェリオ北西側
	⑩旧富山西武南側
中央通り	⑪中央通り西口
	⑫北陸銀行本店北側
	⑬旧P.O.BOX前
西町	⑭マツイ電器店前
	⑮旧メストモロハートII前
	⑯旧コーヒーフィールズ前

※備考

平成19年2月「フォルツァ総曲輪」オープン
 平成19年3月「にぎわい横丁」オープン
 平成19年9月「総曲輪フェリオ」および
 「グランドプラザ」オープン

目標数値 3) 中心市街地の居住人口 (人)

* 調査方法…毎年度 9 月末の住民基本台帳のデータを用いて集計



①目標数値の達成状況

昭和 38 年にピーク (51,739 人) を迎えた中心市街地区域内の居住人口は、その後減少に転じ、特に近年 (平成 6 年～平成 16 年) では、年平均 350 人の減少を示していたが、平成 17 年以降の 5 カ年においては、年平均 80 人程度にまでその減少幅を縮小してきている。(表 4)

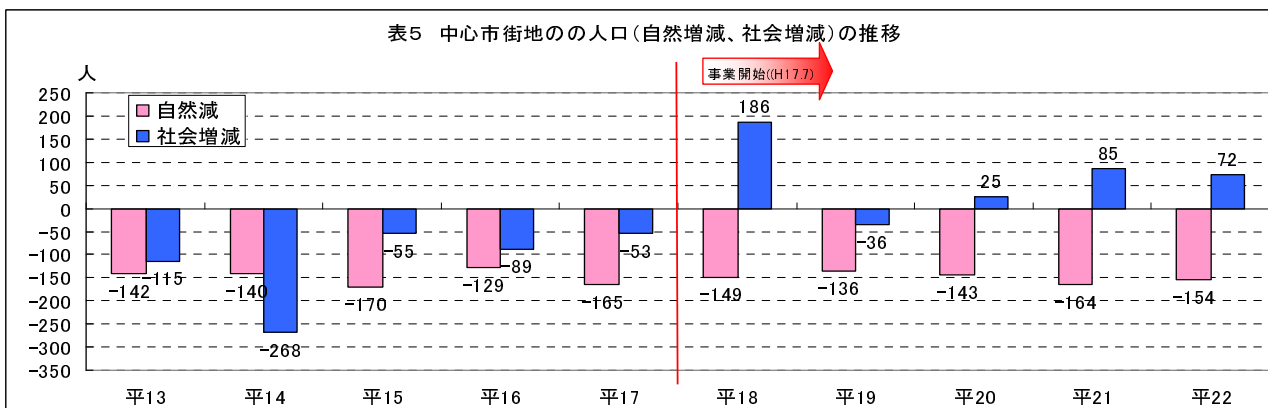
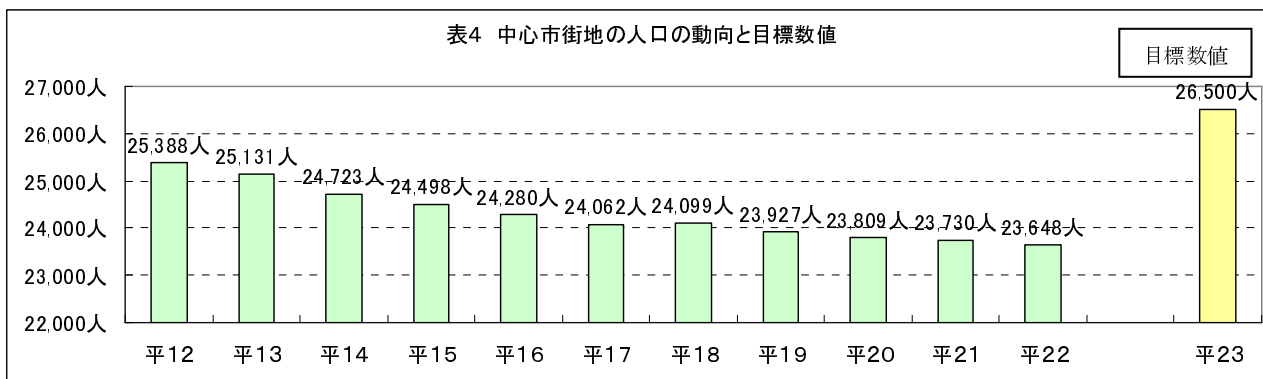
また、人口動向については、中心市街地は市の全域と比較すると、高齢化率が 5 ポイント程度高いため、死亡数が出生数を上回る自然減が大きいものの、社会増減は、平成 12 年 10 月～平成 17 年 9 月の 5 カ年では年平均 116 人の転出超過であったものが、平成 17 年 10 月以降の 5 カ年では、年平均 66 人の転入超過に転じている。(表 5)

これは、平成 17 年 7 月から実施した「まちなか居住推進事業」の取り組みや、再開発事業等による住宅の大量供給の効果によるものと考えられる。

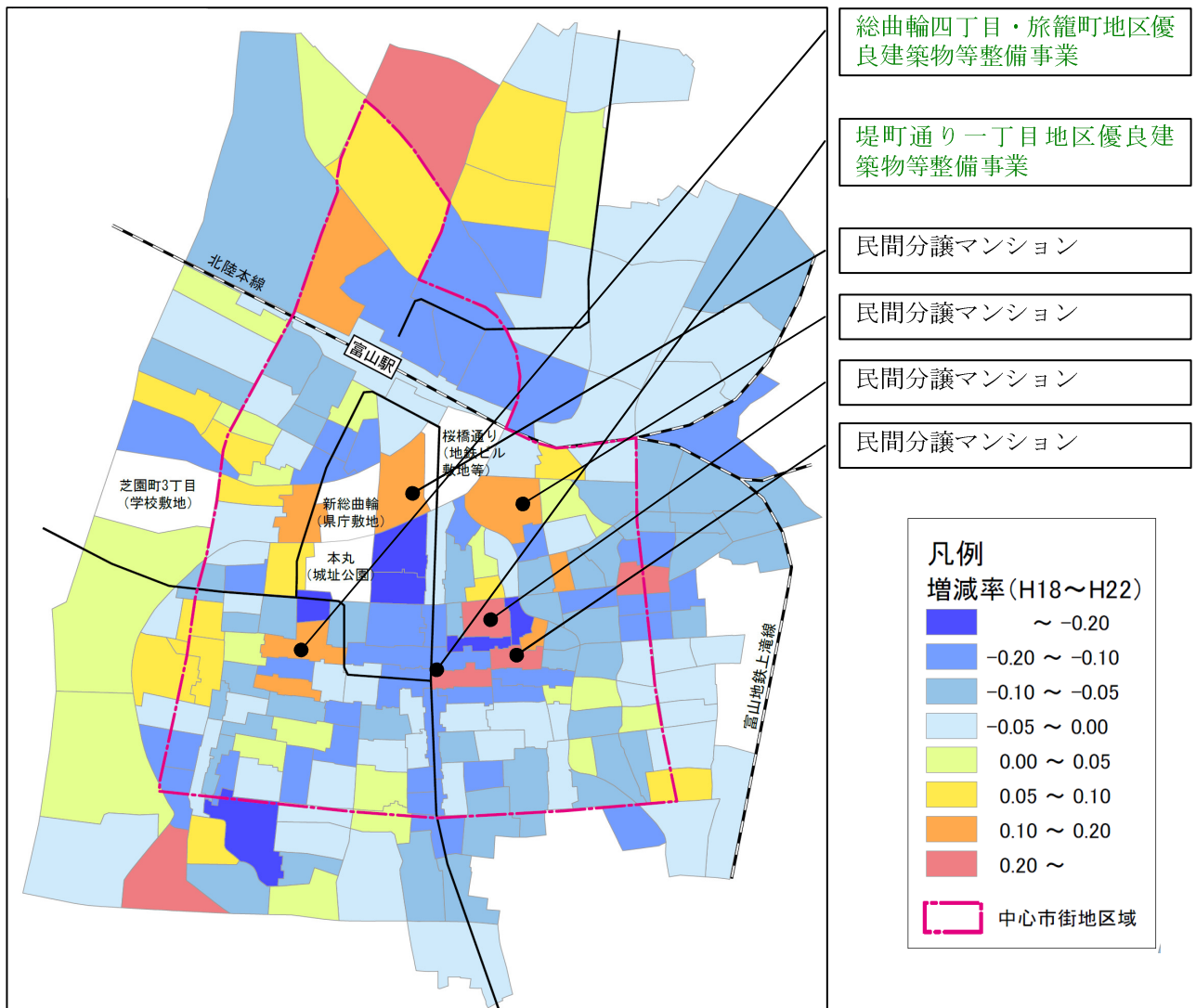
なお、住民票の移動を伴っていない区域内の居住人口についても、昨年度行われた国勢調査のデータをもとに、分析評価していきたいと考えている。

②今後の対応策

今年度末には、「中央通り地区 f ブロック第一種市街地再開発事業」(125 戸)、来年の 9 月には「西町東南地区第一種市街地再開発事業」(116 戸) が完了する予定であることや、民間の分譲マンションの建設も予定されていることから、居住人口の増加が期待できる。



<図3 中心市街地の町丁目ごとの、平成18年-平成22年人口増減率プロット図>



中心市街地区域および周辺の町丁目別の、平成18年から22年の居住人口増減率は、下図のとおりである。県庁・市役所周辺の地区（「新桜町」、「東田町一丁目」、「安住町」）や、本計画による優良建築物等整備事業を実施した地区（「堤町通り一丁目地区」、「総曲輪4丁目」）などにおいて、居住人口が増えている。

「まちなか居住推進事業」や「優良建築物等整備事業」等の取組みは一定の効果をあげているものの、死亡数が出生数を上回る自然減の影響を受けていることが推察される。

3 評価のまとめ

富山市では今後本格化する人口減少や、公共交通の衰退、市街地の低密度化などの都市の諸課題に対応するため、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を推進しております。

中心市街地地区は、本市の「顔」として都市のイメージを象徴する場所であるとともに、コンパクトなまちづくりを推進する上で最も重要な拠点であることから、平成19年2月に「富山市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、これまで「市内電車環状線化事業」、「総曲輪通り南地区第一種市街地再開発事業」、「グランドプラザ整備事業」など計画に位置付けた事業を積極的に実施し活性化に取り組んできたところであります。

こうした取り組みの結果、

- ①これまで減少傾向にあった「市内電車の乗車人数」が増加に転じていること
- ②「歩行者通行量」においても整備事業を実施した箇所の周辺などでは、予想を超える効果が現れていること
- ③中心市街地の「居住人口」は、高齢化などにより引き続き減少傾向にあるものの、平成17年以降の5ヵ年間は転入が転出を上回る転入超過になっており、社会増減の面では大きく改善していること

など着実に事業効果が現れているものと考えております。

これらの動きに併せて、新たな出店や専門学校の開校、共同住宅の建設など民間投資意欲も活発となっており、まち全体のイメージも明るく清潔なものへと変化してきております。

また、コンパクトなまちづくりの推進を核とし、車から公共交通へ転換することや、新エネルギーの活用、低炭素住宅の推進などにより、CO₂の大幅な削減を図る取り組みが評価され、平成20年7月に「環境モデル都市」に選定されました。

こうした本市での取り組みや事業効果は全国的にも大変注目されており、「低炭素都市づくりベストプラクティス大賞」や「第6回まち交大賞：国土交通大臣賞」、「都市景観大賞優秀賞（都市空間部門）」など、多くのまちづくりに関する賞を受賞するなど、高い評価を受けているところであります。

今後は、中心市街地活性化の事業効果をより確実なものにしていくため、本計画に位置付けた各種事業を着実に推進し、事業者やNPO、地域住民と連携を強化しつつ新たな事業を含め、さらなる活性化に向けて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

(2) 富山市中心市街地活性化基本計画・27事業の進捗状況等

富山市中心市街地活性化基本計画で掲げた27事業の進捗状況は次のとおりとなっている。

	完了したもの	既に着手しており、第2期計画においても継続して行うもの	着手していないもの	合計
ハード事業（施設整備等）	7（完了予定含む）	5	1	13
ソフト事業（施設運営、イベント、活動支援等）	3	11	0	14
合計	10	16	1	27

① 公共交通の利便性の向上

〈ハード事業〉

事業名	実施主体	事業概要	実施時期【進捗状況】	事業実績、実施による効果・課題等
路面電車環状線化事業	富山市	中心市街地を運行している路面電車市内線の軌道を延伸、環状線化し富山駅周辺地区と中心商業地区の回遊性の向上を図る事業。 ・延伸距離 約900m ・延伸区間 丸の内～西町	H18～H21年度【完了】	平成21年12月23日開業 〈都心線区間乗降客数（開業～H23.3まで）〉 土日祝日 1,243人/日 平日 778人/日 全日計 930人/日
富山駅周辺地区土地区画整理事業	富山市	平成26年度末の北陸新幹線開業や富山駅付近連続立体交差事業とあわせ、富山駅周辺地区の南北一体的なまちづくりを推進するため、駅前広場や都市計画道路などの都市基盤整備を行い、駅周辺地区における土地利用の高度化を図る事業。 ・施行面積 約10.4ha ・整備内容 駅前広場整備、都市計画道路整備	H17～H29年度【着手済】	〈H23年度末までの主な経過〉 H17.7 都市計画決定 H18.8 事業計画決定 H18～20年度 減価補償金相当額による用地先行取得 H21年度 事業計画変更 H22年度 仮換地指定、富山駅南口仮広場供用開始 H22～26年度 富山駅南口交通広場整備 〈H23年度末進捗率見込（事業費ベース）〉45.9% 〈H24年度以降の主な予定〉 H24～H26 富山駅南口交通広場、西口交通広場整備ほか H27以降 富山駅西口交通広場、北口交通広場、都市計画道路（富山駅南北線、富山駅横断東線）整備
富山駅付近連続立体交差事業	富山県	鉄道により南北に分断されている市街地状況の改善し、交通結節機能の強化を図る事業。	H16～H28年度【着手済】	〈H23年度末進捗率見込（富山市負担金ベース）〉13.6% 〈H26年度末までの主な予定〉 ・北陸新幹線開業にあわせ、JR北陸本線上り、JR高山本線の部分を高架化 〈H27年度以降の主な予定〉 ・JR北陸本線下り部分を高架化

〈ソフト事業〉

中心市街地活性化コミュニティバス運行事業	(株)まちづくりとやま	中心市街地にコミュニティバスを運行させ、居住者の利便性を向上させるとともに、居住者の中心市街地への来街回数増加を図る事業。	H12年度～【着手済】	〈H22年度実績〉 中央ルート 95,606人 清水町ルート 143,930人
おでかけバス事業	富山市	満65歳以上の市民を対象に、市内全域と中心市街地及び市民病院間の運賃を100円とし、中心市街地の来街者の増加と公共交通機関の利用促進を図る事業。	H16年度～【着手済】	〈H22年度実績〉 定期券申込者 27,656人(65歳以上人口の約32%) 利用者 693,306人 〈ICカード化〉 H23年度から、おでかけ定期券をICカード化し、利便性の向上を図っている。 〈おでかけ電車事業、おでかけ路面電車事業〉 H20年度～ おでかけ電車事業を実施 H23年度～ おでかけ路面電車事業を実施

② 賑わい拠点の創出

〈ハード事業〉

事業名	実施主体	事業概要	実施時期 【進捗状況】	事業実績、実施による効果・課題等
富山城址公園整備事業	富山市	富山らしさを象徴する城址公園として再整備する事業。	H10～H27年度 【着手済】	(H23年度末進捗率見込(事業費ベース))69% (事業実施状況) 「お濠のゾーン」、「芝生広場ゾーン」の整備を完了し、H20年度からは、本公園の核となる「歴史・文化ゾーン」の整備に着手している。
総曲輪通り南地区第一種市街地再開発事業	総曲輪通り南地区市街地再開発組合	百貨店、専門店整備の再開発事業。	H11～H19年度 【完了】	平成19年9月21日オープン
グランドプラザ整備事業	富山市	中心商業地区の貴重な公共空間として、一年を通して使用可能な全天候型ガラス屋根の広場を整備する事業。	H17～H19年度 【完了】	平成19年9月17日オープン (H22年度実績) 専用使用日数267日(稼働率73.2%) (休日使用日数117日(稼働率99.2%))
総曲輪開発ビル再生支援事業	地権者等関係者の協議により決定	現有の空きビルに新たな集客施設を誘致するための改修等を支援する事業。	H23年度までに着手 【未着手】	平成19年8月 駒矢ビルが取得 平成23年7月 新たな事業予定者が取得

〈ソフト事業〉

「賑わい交流館」整備運営事業	(株)まちづくりとやま	空き店舗を活用し、映画館をはじめとし、市民の文化・教養・娯楽の拠点を整備運営する事業。	H18年度～ 【着手済】 施設整備完了 運営実施中	平成19年2月24日オープン (H22年度実績) 来店者20,797人(66人/日) (オープン以来の累計90,827人(70.8人/日)) (効果等) ・シネマホールでは、ミニシアター系の映画を上映し、郊外のシネマコンプレックスと住み分けを図り、一定のリピーターの定着が図られている。 ・ライブホールでは、音楽ライブ、落語、各種教室など多様な催事で利用されている。
「賑わい横丁」整備運営事業	(株)まちづくりとやま	市民からのニーズが高く、中心市街地に不足しているとされる飲食店を整備運営する事業。	H18年度～ 【着手済】 施設整備完了 運営実施中	平成19年3月10日オープン (H22年度実績) 来店者数44,674人(122人/日) (オープン以来の累計242,555人(160人/日)) (効果等) 現在、6店舗が営業
中心商店街魅力創出事業	中心商業地区にある商店街団体	中心商業地区において、統一したコンセプトに基づく店舗外装とショーウィンドーの整備を行う商店街を支援し、商店街の魅力を向上させる事業。	H17～H26年度 【着手済】	(実績・計画) H17～H19年度 総曲輪通り商盛会(13店舗) H21～H23年度 千石町通り商店街(14店舗) 大手モール振興会(8店舗)
街なかサロン「樹の子」運営事業	(株)まちづくりとやま	トイレや無料休憩スペースを中心商業地区において提供することにより、高齢者をはじめとする来街者の回遊性向上を図る事業。	H15年度～ 【着手済】	平成16年3月オープン (H22年度実績) 入館者数46,218人 (オープン以来の累計313,258人)
街なか感謝デー開催事業	街なか感謝デー実行委員会	駐車場を無料開放するとともに、各種イベントを開催し、中心商業地区の魅力を市民に再発見してもらい、中心市街地の来街者の増加を図る事業。	H17年度～ 【着手済】	(H22年度実績) 5回開催 (前週との増減率) 駐車台数 22.1%増 歩行者通行量 23.0%増
総曲輪オフィシャルガイドブック作成事業	(株)まちづくりとやま	「賑わい交流館」整備運営事業と一体となって行う事業であり、中心商業地区の情報を一覧性にしてまとめて発信し、来街者の回遊性向上を図る事業。	H18年度 【完了】	平成18年度に総曲輪オフィシャルガイドブック「総曲輪スタイル so-Map2007」を30,000部発行。
大規模小売店舗立地法の特例措置	富山県	中心市街地にみられる空き地・空き店舗に多くの集客が見込める新たな大型商業施設の出店を促進していくうえでの、大店立地法の手続きを簡素化する措置。	H18年度～ 【完了】	平成19年8月 富山県により特例区域を指定(指定箇所) 総曲輪開発ビル再生支援事業(旧富山西武)、西町南地区第一種市街地再開発事業(旧大和百貨店)、総曲輪通り南地区第一種市街地再開発事業(総曲輪フェリオ)が立地する箇所の特例措置(第一種特例区域)の適用。
ICカード活用による商業等活性化事業	ICカードポイント活用商店街ポイントサービス社会実験実行委員会	富山ライトレールのICカードの利用範囲を拡大し、駐車場、公共交通等にも利用できるシステムを形成し、来街者の利便性の向上を図る事業。	H23年度までに実施 【着手済】	H19年度から「ICカードポイント活用商店街ポイントサービス社会実験」を実施。 (今後の予定) 市内交通機関のICカード化がほぼ完了することから、本格実施へ向けて、サービス内容の拡充を検討中。
アーバン・アテンダント事業	(株)まちづくりとやま	中心市街地において、大学生等のボランティアが、まちの案内、挨拶、介助、清掃などのさわやか活動を行い、来街者が安心して、楽しく、快適に買い物ができるようにする事業。	H15年度～ 【着手済】	(H22年度実績) ・「街なかメイクアップサポーター」のブログ開設 ・山王市でのイベント実施 ・街なかお絵かきプロジェクト実施など

③ まちなか居住の推進

〈ハード事業〉

事業名	実施主体	事業概要	実施時期 【進捗状況】	事業実績、実施による効果・課題等
介護予防施設整備事業	富山市	交通利便性の高い中心市街地に位置する星井町五番町小学校跡地に高齢者の介護予防を進める施設整備事業。(中心市街地内に介護予防施設と保健福祉センターを複合的に整備) 敷地面積 7,884.47㎡ 床面積 5,038.07㎡	H19～H23年度 【完了】	平成23年7月2日オープン (施設名) 富山市角川介護予防センター (効果等) 中心市街地区域内の居住者の利便性が向上し、区域外からの来訪者が中心商業地に立ち寄ることからによる賑わいづくりが期待できる。
総曲輪四丁目・旅籠町地区優良建築物等整備事業	一般社団法人 総曲輪4丁目・旅籠町地区開発協議会	共同住宅、商業施設整備の共同事業。 (共同住宅(52戸)と商業施設等を整備)	H19～H21年度 【完了】	平成22年2月完成
西町南地区第一種市街地再開発事業	西町南地区市街地再開発準備組合	更新が必要な街区における再開発事業。 (業務・公益施設を含む複合施設を整備)	H19～H26年度 【着手済】	(H22年度末事業進捗率(事業費ベース)) 1.7% (主な経過と予定) 平成22年9月 都市計画決定 平成26年 施設建築物新築工事竣工(予定) 現在、早期の本組合設立認可に向け、事業計画作成業務、施設建築物基本設計業務を行っている。
西町東南地区第一種市街地再開発事業	西町東南地区市街地再開発組合	更新が必要な街区における再開発事業。 (共同住宅(116戸)と商業施設等を整備)	H21～H24年度 【着手済】	(H22年度末事業進捗率(事業費ベース)) 38% (主な経過と予定) 平成21年9月 都市計画決定告示 平成22年5月 市街地再開発組合設立認可 平成23年1月 権利変換計画認可、除却工事着手 平成23年5月 施設建築物新築工事着手 平成24年9月 施設建築物新築工事竣工(予定) 現在、平成24年9月の完成を目指し、工事を継続中である。
堤町通り一丁目地区優良建築物等整備事業	住友不動産(株)	共同住宅、商業施設整備の共同事業。 (共同住宅(96戸)と商業施設等を整備)	H16～H18年度 【完了】	平成19年2月完成
中央通りf地区第一種市街地再開発事業	中央通りf地区市街地再開発組合	更新が必要な街区における再開発事業。 (共同住宅(125戸)と商業・業務施設等を整備)	H19～H23年度 【完了予定】	(主な経過と予定) 平成19年4月 都市計画決定告示 平成20年11月 市街地再開発組合設立認可 平成22年3月 建築物等除却工事着手 平成22年4月 施設建築物新築工事着手 平成24年3月 施設建築物新築工事竣工(予定) 現在、平成24年3月の完成を目指し、工事を継続中である。また、分譲予定戸数が完売した。

〈ソフト事業〉

富山市まちなか居住推進事業	富山市	質の高い住宅建設の促進への補助や良質な住宅取得への支援等を行う事業。 (支援内容) 建築事業者向け：共同住宅の建設一戸あたり100万円 住宅取得者向け：住宅取得補助50万円 賃貸住宅家賃補助1万円/月	H17年度～ 【着手済】	(H22年度までの実績(累計)) 補助金交付申請392件、774戸
低未利用地活用推進調査事業	富山市	中心市街地に散在する小規模な低未利用地を集約して一定規模の土地として有効活用するための支援策等の調査事業。	H18～H20年度 【完了】	H18・19年度の2カ年で報告書を作成
富山市高齢者の持家活用による住み替え支援事業	富山市	まちなかに居住を希望する高齢者世帯の持家を借り上げ、子育て世帯等への転貸を図る事業。	H19年度～ 【着手済】	(実績) これまでのところ実績なし。